

課題探究における到達目標（ループリック）

	要素		定義	到達度					
				①	②	③	④	⑤	
科学的探究力	【課題発見力】		身の回りの自然や事象に関心や疑問を持ち、課題や不思議を見出し、それを探究テーマとして設定する力	疑問や不思議に気づいたり、検証可能な形でのテーマ設定をしたりすることがほとんどできない	助言を参考にしながら、課題を見出し、検証可能な形でのテーマ設定ができる	自ら課題を見出し、検証可能な形でのテーマ設定ができ、実行可能な計画をある程度立てることができる	自ら独創的な課題を見出し、検証可能な形でテーマを設定し、実行可能な複数の手法あるいは最適な手法を考えることができる	④よりさらにできる	
	科学リテラシー	【情報収集力】：必要な情報や知識を収集し自らの探究に活用する力	必要な情報収集ができず、集めた情報とテーマとの関係性を見出せない	必要な情報や知識を書籍や論文、インターネット等から集めることができる	情報の信頼性を評価したり、複数の手法（情報収集手段）の中から適した方法を選択したりすることができる	信頼できる複数の情報を組み合わせ、仮説や課題の検証に用いることができる	④よりさらにできる		
		【情報分析力】：収集した情報を科学的な視点をもとに分析する（情報を図や表でも表現し、そこから要素を明らかにする）力	収集した情報を科学的な視点をもとに上手く分析することができない	指導・助言を参考にしながら収集した情報を科学的な視点をもとに分析することができる	収集した情報を複数の分析方法の中から適した方法を自ら選択し、科学的な視点をもとに分析することができる	既存の分析方法だけではなく、科学的な根拠を組み込んだ独自の分析方法を導出し、それをもとに分析することができる	④よりさらにできる		
		【論理的思考力】：仮説を設定する力、結果をもとに妥当な結論や新たな仮説を導く力	助言や説明を受けても、データ処理等の調査結果や実験結果から、論理的な仮説や結論を導くことが上手にできない	助言によりデータ処理等の調査結果や実験結果から、論理的に妥当な仮説や結論を導くことができる	自らデータ処理等の調査結果や実験結果から、論理的に妥当な仮説や結論を導くことができる	自らデータ処理等の調査結果や実験結果を複合的に用いて、論理的に妥当な仮説や結論を導き、更に新たな仮説を洞察することができる	④よりさらにできる		
		【プレゼンテーション力】：研究の目的や過程、結論をわかりやすく効果的に他者に伝える力	要求された内容のポスターを作成することができていなかったり、メモに頼らなければ説明したりすることができない	ひと通り要求された内容のポスターを作成することができ、不十分ながらも内容を理解した上でメモに頼らず説明することができる	特定の対象に対してはある程度、ストーリー性や説得力のある説明ができ、質問に対しても答えることができる	相手や場面に応じて適切なプレゼンテーション（英語含む）ができ、質問に対してもその意図を汲んで柔軟で的確な応答ができる	④よりさらにできる		
		【創造的解決力】：課題意識を持ち続け、日常や教科等の学びを横断的に応用し、試行錯誤を粘り強く続けることで、ひらめきや着想を得て、それを元に解決策を見出す力	課題意識に不足し、教科横断的な思考や試行錯誤をすることができない	課題意識を持ち、教科等の学びを横断的に応用し、試行錯誤を行うことができる	課題意識を持ち、教科等の学びを横断的に応用し、試行錯誤を粘り強く行う中で、ひらめきや着想を得ることができる	課題意識を持ち、教科等の学びを横断的に応用し、試行錯誤を粘り強く行う中で、ひらめきや着想を得、それを元にエレガントな解決策を見出せる	④よりさらにできる		
協働実践力	【創発力】	他者との協働により単独ではなしえなかった新たな解を創造していく力	アイディアを交換するのを躊躇したり、自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しい	互いのアイディアを尊重した上で、その要点を理解することができる	班のメンバーに留まらず、広く助言者のアイディアを尊重しつつ取り入れ、探究の質を高めることができる	他者との協働で一人では気づかなかった新たな考えを生み出せるとともに、誰がそのアイディアの真の発案者だったかを念頭にそれを尊重できる	④よりさらにできる		
	【社会参画力】	自らの探究を社会の中に位置づけ、積極的に社会に貢献し、公共の福祉を実現ようとする姿勢・力	自身の探究の社会的意義を見出すことが上手くできず、他者との協働に必要な計画性が不足する	説明を受けることで、自身の探究の社会的意義を理解することができ、計画的に進めることができる	自ら、自身の探究の社会的意義を理解し、他者と調整しながら計画的に進めることができる	自ら、自身の探究の社会的意義を深く理解し、その公共の福祉の実現のため、利害関係者（ステークホルダー）全体を俯瞰し、その調整を図り、実際の行動に移すことができる	④よりさらにできる		
メタ認知力	【自己評価力】	自らの思考や行動を、目的・目標に照らして客観的・多面的に把握、評価する力	思い込みや特定の場面をもとにした一面的な評価の傾向が強く、客観的な自己評価が難しい（自己評価が不当に低いこともここに含む）	助言や他者評価をもとに、自己の思考や行動を、目的・目標に照らして多面的に捉え、自己評価にいかすことができる	自ら目的・目標に照らした多面的な自己評価ができるとともに、他者評価とのズレを理解・納得することができる	目的・目標に照らして、多面的な自己評価や他者評価が適切にでき、それらをもとに、自らをより一層高めるための適切な到達目標を設定できる	④よりさらにできる		
	【自己変容力】	自らの目的・目標に照らして自分の思考や行動を評価し、より望ましい方向に進もうとする力	助言を受けても目的・目標を考えることができず、自分の現在の状況を客観的に把握することが難しい	助言により、目的・目標を設定でき、それに照らしながら自分の現在の状況にある程度客観的に把握することができる	自ら目的・目標に照らして自分の現在の状況をしっかりと把握することができ、助言をもとに、自己実現に必要な具体的方策を考えることができる	自ら目的・目標に照らし自分の現在の状況を客観的・多面的に把握しており、自己実現に必要な行動に計画的かつ継続的に粘り強く取り組むことができる	④よりさらにできる		